

令和3年度第2回沖縄県振興推進委員会 議事概要

- 1 開催日時 令和3年5月31日(月) 14:00~15:30
- 2 開催場所 沖縄県庁6階第1、第2特別会議室
- 3 出席者 玉城知事、謝花副知事、照屋副知事、島袋政策調整監、知事公室長、総務部長、企画部長、環境部長、子ども生活福祉部長、保健医療部長、農林水産部長、商工労働部長、文化観光スポーツ部長、土木建築部長、教育長、病院事業局長、企業局長、県警本部警務部参事官(県警本部長代理)
- 4 議題 新たな振興計画(素案)及び成果指標等(案)について
- 5 議事内容
 - (1) 事務局が配付資料に基づき説明を行った。
 - (2) 事務局から書面で開催した沖縄県振興推進委員会幹事会において意見のあった内容について報告を行った。
 - (3) 各委員(各部局長等)が資料1-1「新たな振興計画(素案)」に基づき、各部局が取り組む主な施策について説明を行った。
 - (4) 副委員長(謝花副知事)から次の発言があった、
 - ア 新たな振興計画(素案)における各部局の目玉となるような施策を整理すること。
 - イ 文章の構成について、今後、現在の箇条書きから文章化とするまでに「~を目指す」「~が課題である。」「~に取り組む。」という括りで整理すること。
 - (5) 「新たな振興計画(素案)」については、事務局案のとおり、全会一致で了承された。
 - (6) 議題が了承された後、委員長(知事)から次の発言があった。
 - ア 沖縄県は、令和4年度に復帰50年を迎える。この大きな節目から始まる「新たな振興計画」については、経済・社会・環境の三側面が調和した「持続可能な沖縄の発展」と「誰一人取り残さない社会」を目指していきたいと考えている。
 - イ さらに、ウィズコロナからアフターコロナの将来を見通す中で、今後も発展が見込まれるアジアのダイナミズムを取り込むなど、未来を先取りし、日本経済発展の一端を担えるよう、取り組みを進めていきたい。
 - ウ 今後は、本日、了承された「素案」を沖縄県振興審議会へ諮問し、本年12月を目処に答申を得ることとしている。その間、市町村や関係団体等、各界各層のご意見をいただきつつ、国との協議も重ねていき、来年3月に新たな振興計画(案)を策定する予定になっている。

エ 沖縄県振興審議会の各部会における審議対応など、新たな振興計画の策定に引き続き、全力で取り組むこと。

以 上